6－7　沖縄地方とその周辺の地震活動（1989年5月～10月）

Seismic Activity in and around the Okinawa District (May – October, 1989)

沖縄気象台
Okinawa Meteorological Observatory, JMA

1989年5月から1989年10月までの震央分布を第1図，与那国島における地震回数を第2図に示す。また，第3，4図にはそれぞれ1989年5月～7月，1989年8月～10月の震央分布を示す。おもな地震活動は次のとおり。

(1)　8月3日20時31分・台湾東方沖にM：5.2深さ102kmのやや深い地震（震度Ⅰ：石垣島）が発生した。

(2)　8月22日08時12分・与那国島の西南西沖にM：6.2の地震（震度Ⅱ：与那国島，Ⅰ：石垣島，西表島）が発生した。この地震は期間中の最大の地震であり今年に入って管内でM：6以上の地震が震源決定されたのはこの地震がはじめてである。この地域では余震と考えられる10数個の地震を震源決定した。1933年2月19日石垣島で家屋が約6坪ばかり陥没する等の被害のあった地震（規模不明）の震源は24° 12′ N，122° 24′ Eと推定されている。

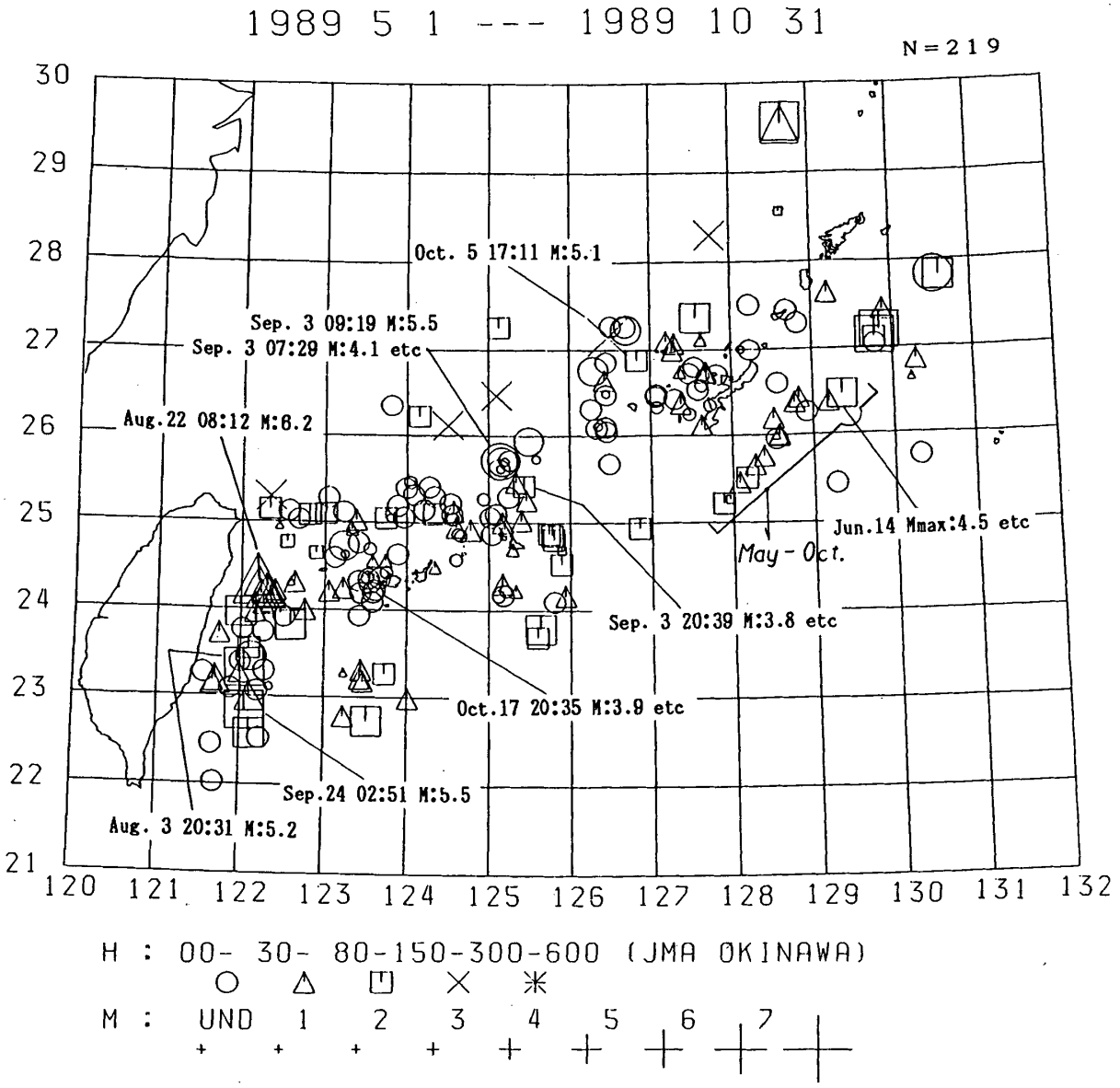
(3)　9月3日09時19分・宮古島北西沖にM：5.5の地震（震度Ⅱ宮古島）が発生し，その地震の前07時29分，後20時39分にも同海域にM：4.1，M：3.8の地震（震度Ⅰ：宮古島）が発生している。また07時から21時までには51回（3個の有感含め）の地震が観測され宮古島の北約100km付近と北西約80km付近及び，東約70km付近にそれぞれ震源決定した。なお宮古島の北方沖でM：5.5以上の地震が発生したのは，1985年1月15日（M：5.7）以来で，その時，宮古島で震度Ⅱを観測している。

(4)　9月24日02時51分・台湾東方沖にM：5.5の地震（無感）が発生した。この地震の南東側に隣接する海域では，1972年1月25日M：7.5の地震（震度Ⅲ：石垣島）が発生し，石垣島では約10cmの津波の痕跡がある。

(5)　10月5日17時11分・沖縄島北西沖でM：5.1の地震が（震度Ⅱ：名護，Ⅰ：那覇）が発生した。この地震の深さは180kmと推定されており，震源に最も近い久米島では無感であった。この地震の震央付近では，1926年6月29日にM：7.5の地震が発生し，この地震により沖縄島の那覇市では，多数の石垣が崩壊する等の被害がでている。

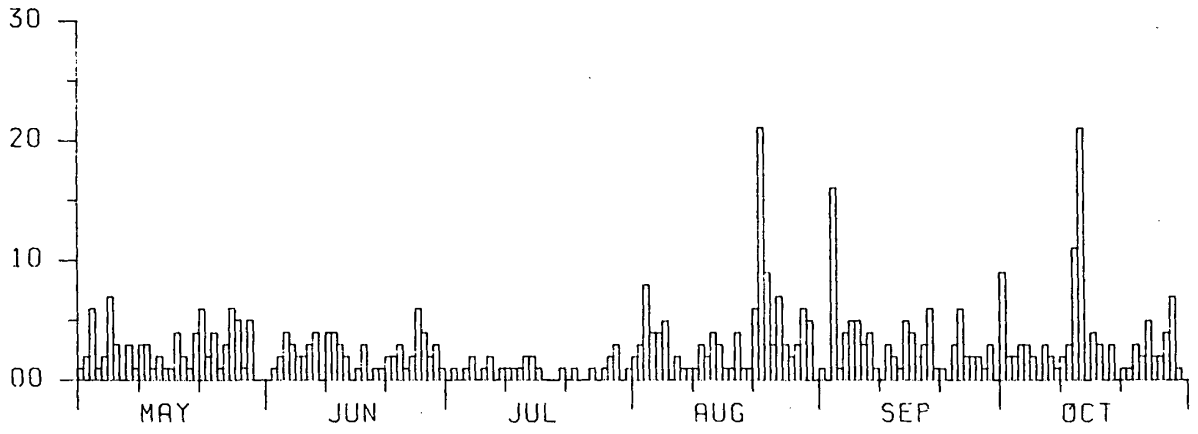
(6)　西表島の西方沖では，10月17日20時35分にM：3.9の地震（震度Ⅲ：西表島，Ⅰ：石垣島）が発生しておりこれらの地震の震央付近では，9個の震源が決まっている。今年に入って管内で震度Ⅲの地震が観測されたのは3月17日沖縄島近海の地震以来2回目である。

(7)　沖縄島の東から南東にかけては琉球海溝沿いに15個の地震（Mmax:4.5＝6月14日）が震源決定されている。これらの地震はほぼ全期間を通して発生したものである。



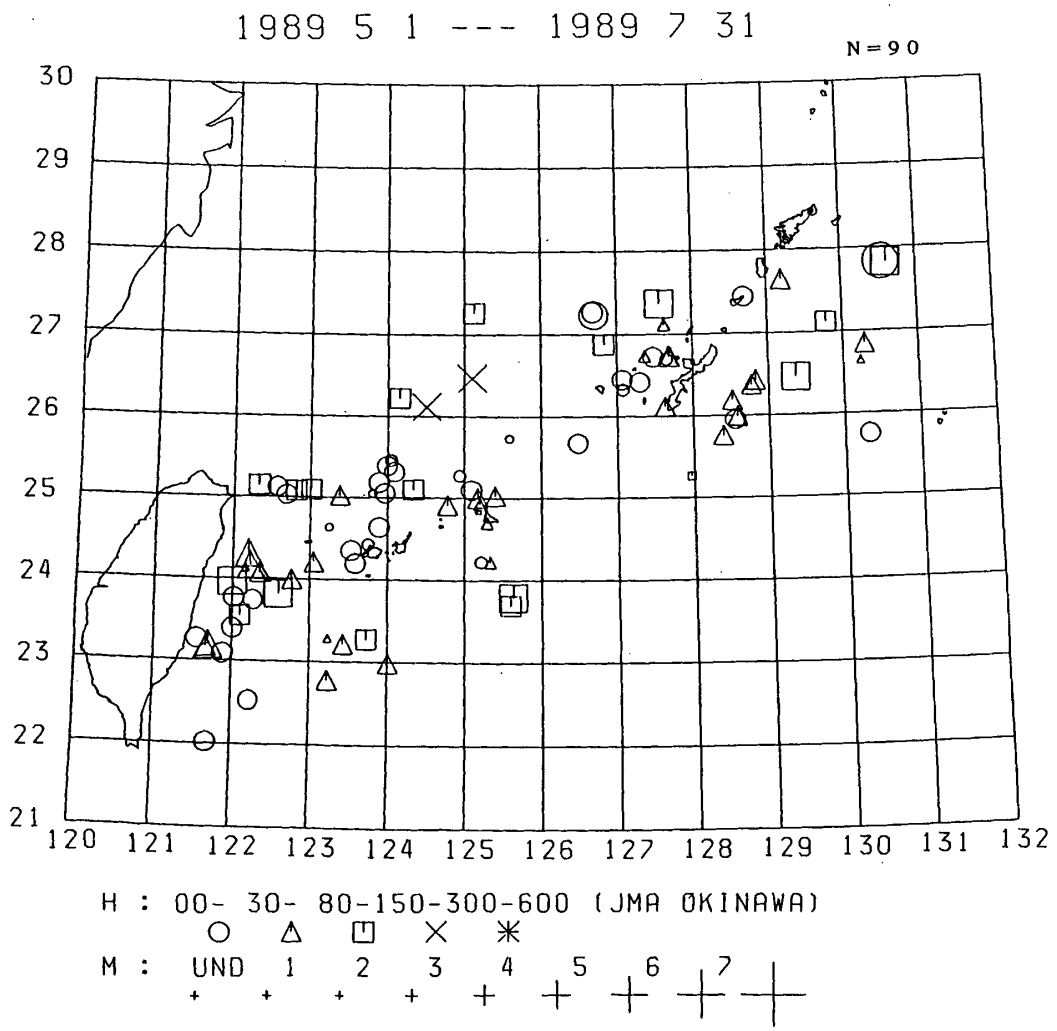
第1図　震央分布（1989年5月～10月）

Fig. 1　Epicentral Distribution (May – October, 1989)



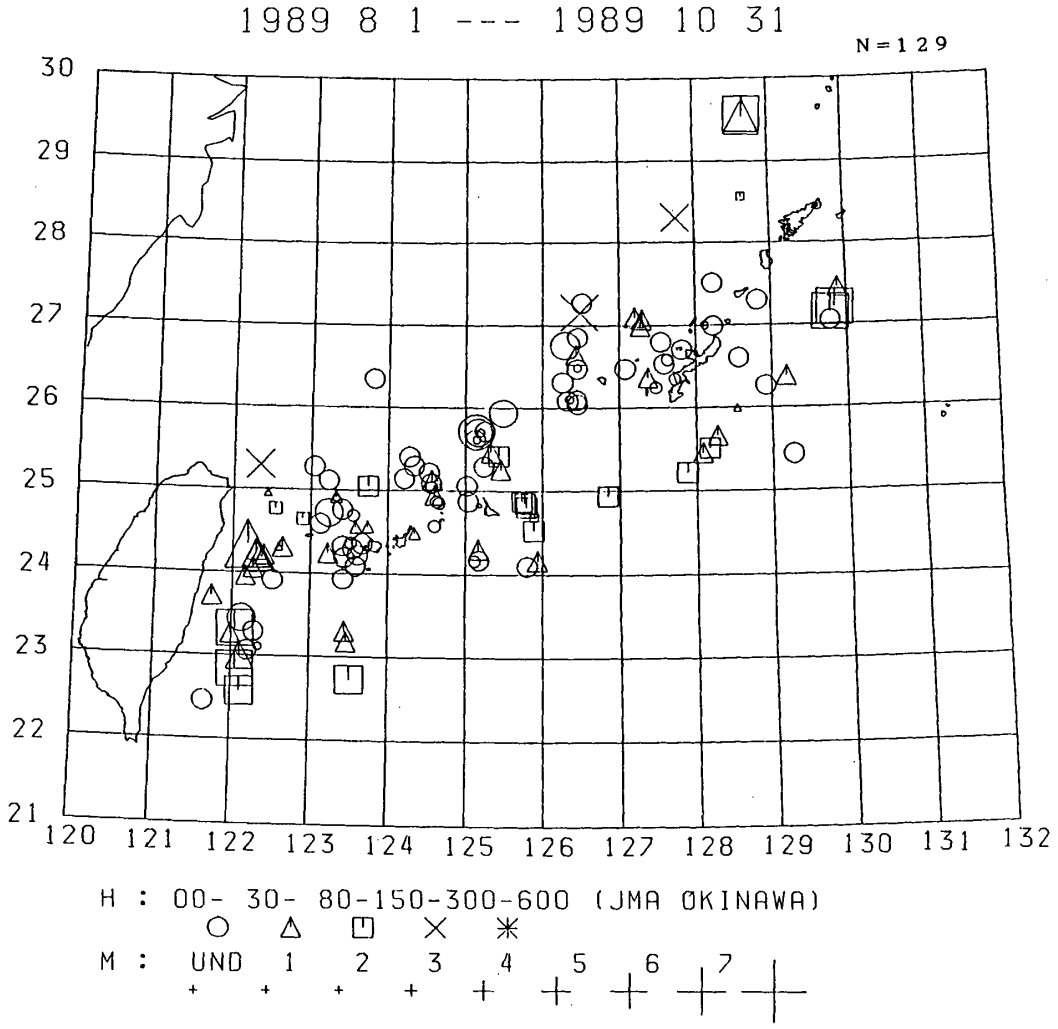
第２図　与那国島における日別地震回数（1989年５月～10月）

Fig. 2　Daily number of earthquakes observed at Yonagunijima Island (May – October, 1989)



第３図　震央分布（1989年５月～７月）

Fig. 3　Epicentral Distribution (May – July, 1989)



第4図　震央分布（1989年8月～10月）

Fig. 4　Epicenter Distribution (August – October, 1989)